

## 第1回岩出市公共下水道事業運営審議会

### 議事概要

1. 日 時 平成25年7月4日(木) 13:45~16:15
2. 場 所 岩出市役所 特別会議室
3. 出席者 会長他委員9名、事務局7名
4. 議 題
  - (1) 諮問について
  - (2) 前回の審議会における論点及び答申の骨子について
5. 会議形式 公開
6. 傍聴者 なし
7. 議事概要

司会者 開 会

上下水道局長 挨 拶

会長 挨 拶

- (1) 審議会の諮問について

今後の事業の運営方針について

- (2) 前回の審議会における論点及び答申の骨子について(事務局から説明)

下水道の種類と仕組み

下水道事業の財源

公共下水道受益者負担金

下水道使用料

下水道の普及促進

(説明終了)

主な質疑応答

#### 質疑

整備事業費の5%を受益者負担金の対象としているとありますが、この整備事業費は、平成42年度までの総事業費を指しているのですか。この金額は現在変わっていませんか。

#### 事務局

この数値は概算ですので現実的には変わってきますが、目安として概ね変わりません。

#### 質疑

普及率や接続率の数字は公共ますの数に対しての数字ですか、それとも人口に対してですか。

事務局

普及率、接続率については、いずれも人口に基づいて算出しております。

質疑

なぜ面積でなく人口なのか。

事務局

受益者負担金は面積から算出しておりますが、排出される汚水量は普及人口に対してどれだけ流入水量があるかという、汚水量の把握をするために人口を基にしております。面積普及率も統計数字上は出すことができますが、全国的にも国土交通省が公表している普及率も人口ベースとなっております。

質疑

下水道管理費が計画より9億4千万円減っていますが、なぜですか。

事務局

下水道管理費の内訳は維持管理費と起債の償還金、流域下水道の維持管理費の総和となっております。管理費が減っているのは、投資額が減ったことにより、起債の償還額が少なくなっているのと、流域下水道の維持管理負担金も汚水流入量が伸びていない分少なくなっております。また流域下水道の建設投資額についても当初より少なくなっており、総じて管理費が計画より低くなっているということです。

質疑

一般会計の基準外繰入と基準内繰入がありますが、基準内繰入金に対しては交付税措置があるので、基準外繰入を減らすように努めるべきなのでは。その考え方でよろしいですか。

事務局

その通りです。

質疑

汚水処理原価は年々下がっていますが、汚水処理量が増えればもっと下がると考えていいですか。また最終的にはどの程度になりますか。

事務局

普及が進んで水量が増えれば汚水処理原価は下がります。処理方式や、処理場の規模でも変わってきますが、那賀処理場の現在の計画値をみれば概ね全国平均程度になると思います。

次回提出資料

- ・面積普及率について
- ・認可区域別の普及率について
- ・普及率が上昇しない要因と接続率が下がった要因の分析について

- ・今後の下水道管理費の見込みについて
- ・基準内繰入、基準外繰入の資料を作成
- ・用語集の作成

8. 次回日程

平成25年8月29日（木）午後1時30分から